



ひと、暮らし、
みらいのために
厚生労働省

Niigata Labour Bureau

新潟労働局

Press Release

新潟労働局発表
平成29年3月3日

報道関係者各位

新潟労働局職業安定部職業安定課

職業安定課長 平田 保

職業安定課長補佐 星野 浩

地方労働市場情報官 佐藤 和彦

TEL : 025-288-3507 (夜間) 025-288-3540

北陸ブロック内雇用情勢報告(平成28年10～12月四半期分)について

北陸ブロック(新潟県、富山県、石川県、福井県)内の雇用トピック等を含む雇用情勢報告(平成28年10～12月四半期分)について公表します。

今般、労働行政へのニーズの高まりに対応し、雇用情勢についての情報提供をより一層促進するため、四半期毎の雇用情勢等について全国のブロック毎に公表することとなり、北陸ブロックについては、新潟労働局が主要局として公表を行うものです。

※ 公表内容について

- ・「企業の生の声」については、事業所へのヒアリング等で聞かれた企業の声の中で、地域の雇用動向に関わるものや特徴的な声を集めたものであり、今回は人材不足分野に対する企業の取組を掲載しました。
- ・「担当窓口の声」については、毎回設定されたテーマに沿ってハローワークの担当者が窓口業務を通じて感じた声を集めたものであり、今回は訓練担当窓口の担当者が感じた声を掲載しました。

北陸ブロックの雇用動向

【平成28年10－12月期の雇用情勢判断】

「雇用情勢は、改善している」(上方修正)

平成28年10－12月期

	平成28年10－12月期						
	就業地別 有効求人倍率 【季調値】 (対前期差) (単位:倍、ポイント)	受理地別 有効求人倍率 【季調値】 (対前期差) (単位:倍、ポイント)	新規求人数 増減率 【季調値】 (対前期比) (単位:%)	新規求職者数 増減率 【季調値】 (対前期比) (単位:%)	正社員 有効求人倍率 【原数値】 (対前年同期差) (単位:倍、ポイント)	雇用保険 被保険者数 増減率 【原数値】 (対前年同期比) (単位:%)	雇用保険 受給者実人員数 増減率 【原数値】 (対前年同期比) (単位:%)
北陸 ブ ロ ッ ク	1.60 (0.02)	1.54 (0.02)	1.9	0.0	1.11 (0.13)	0.9	▲7.2
新 潟 県	1.38 (0.01)	1.34 (0.00)	0.0	0.7	0.95 (0.10)	0.6	▲7.3
富 山 県	1.83 (0.04)	1.66 (0.04)	3.2	▲0.7	1.23 (0.11)	0.9	▲6.2
石 川 県	1.67 (0.05)	1.66 (0.04)	4.7	1.7	1.18 (0.14)	1.5	▲8.8
福 井 県	1.94 (0.04)	1.89 (0.06)	1.4	▲4.1	1.38 (0.24)	0.9	▲5.7

※ 雇用保険被保険者数については、一般、高年齢、特例被保険者の合計値。雇用保険受給者実人員については、一般被保険者の数値である。

雇用動向におけるトピック

○糸魚川市の大規模火災の対応

・被災事業所54事業所（うち、雇用保険適用事業所は19事業所）からハローワークへの相談は、商工会議所等の関係機関を通じたものを含め5件。

（内容：雇用保険の特例措置2件、雇用調整助成金1件、廃業手続き1件、所在地変更手続き1件）

・被災地域の雇用保険受給者は1名、関係書類焼失のため再発行を行った。

○富山県の電子部品製造業で100人の増員求人

・今後の海外需要を見込み、昨年年11月に工場を増設し、製造ラインオペレータを増員するもの。
スマートフォン関係が伸び悩む中、引き合いの強い高機能部品を生産している。

○富山県の自動車部品製造業で雇用調整実施予定。

・大手自動車メーカーのエンジンを主に製造しているが、国内販売の低迷とエンジンの小型化による価格下落のため売上減少となり、150人の希望退職を募る。

企業の生の声

○地域の人材不足分野に対する企業の取組について

・院内保育所の新設や拡大、学童保育施設の設置や保育料の補助を行う等の従業員の子育て支援の実施、介護用機器の導入により職場環境の改善、ライフバランスにあった勤務形態（日勤のみ、パート勤務等）の導入。

【医療・福祉業】

・従業員の希望に沿った勤務時間・形態の導入や部門の連携強化

【宿泊業】

・一部の販売職種に限り、入社祝い金制度を設置。

【小売業】

・育児休暇取得後の子供の成長に合わせた勤務時間の配慮及び短時間パート社員から正社員へ転換促進。

【建設業】

・男性が多かった製造現場に女性のための休憩室を設置

【建設機械製造業】

・賃金の下限引き上げを含めた賃上げの検討

【金属製品製造業】 【電子部品製造業】

訓練担当窓口の声

○どのような求職者が就職に結びつきやすいと感じているか

・訓練入校時から知識・技能・資格の習得だけでなく労働市場を理解した上で、修了後にどのような求人へ応募をするか等、具体的に就職目標の方向性がより明確になっている求職者は意欲が高く就職に結びついていると感じている。

・挨拶・協調性などの社会性が身につけている方でないとも知識・技能・資格を身に付けたとしても採用に至らない。

○求職者の重視している要素はどの様なものがあるか

・訓練受講により身に付けられる知識・技能・資格を活かせる関連職種の求人・就職状況を重視して。幅広い職種で活用できるPC系訓練、医療事務などは応募者が多い傾向。

・訓練中の生活保障（雇用保険、訓練受講給付金）や、家庭と訓練の両立を考えた通学のしやすさを重視している求職者も見られる。

○最近の求職者の特徴的な動きはないか、その他、選定したターゲットの属性に応じた項目

・雇用環境の改善により、企業側も人材確保のために賃金を上げたり経験不問にする等、求人条件を見直ししている状況であることを背景に、①訓練を受講せずに早期就職を目指す求職者、②訓練を受講した上でじっくり就職先を探す求職者の二極化がはっきりしてきていると感じており、そのため全体的に訓練受講希望者が減少している。

一定程度の職業経験やスキルを持っている求職者は、訓練受講よりも早期再就職を重視する傾向にある。

・訓練中から積極的に就職活動を行う訓練生が増加したため、一部に就職による中途退校者や早期修了者が出ている。



ひと、暮らし、
みらいのために
厚生労働省

Niigata Labour Bureau

新潟労働局

Press Release

新潟労働局発表
平成29年3月3日

新潟労働局職業安定部職業安定課

職業安定課長 平田 保

職業安定課長補佐 星野 浩

地方労働市場情報官 佐藤 和彦

TEL : 025-288-3507 (夜間) 025-288-3540

報道関係者各位

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組について

全国の公共職業安定所（ハローワーク）において、平成27年度から取り組みを開始しました「ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組」に係る主要3指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）について、1月分の実績（雇用保険受給者の早期再就職件数については12月）を発表します。

新潟労働局及び各ハローワークでは、当初設定した主要目標等の達成に向けて取り組んでいくほか、中長期的な業務の質の向上や継続的な業務改善を図るとともに、成果や評価結果、業務改善の状況等について利用者にわかりやすく公表することにより、ハローワークに対する信頼の向上に努めることとしています。

～ 平成29年1月分の実績 ～

新潟労働局職業安定部

【主要指標】ハローワーク別の業務実績

	新潟	長岡	上越	三条	柏崎	新発田	新津
① 就職件数	580件	389件	287件	226件	100件	227件	206件
② 充足件数	699件	391件	276件	229件	98件	199件	155件
③ 雇用保険受給者の早期再就職件数	228件	133件	97件	70件	25件	79件	82件
	十日町	糸魚川	巻	南魚沼	佐渡	村上	合計
① 就職件数	85件	53件	183件	123件	69件	107件	2,635件
② 充足件数	77件	51件	185件	127件	70件	84件	2,641件
③ 雇用保険受給者の早期再就職件数	25件	9件	68件	46件	16件	33件	911件

- 「①就職件数」とは、「ハローワークの職業紹介により常用就職した件数」
- 「②充足件数」とは、「ハローワークで受理した常用求人の充足件数」
- 「③雇用保険受給者の早期再就職件数」とは、「基本手当の支給残日数を所定給付日数の3分の2以上残して早期に再就職した件数」
- ③については算出可能時期が翌々月のため、1か月遅れの12月末の状況である。

上記主要指標のほか、マッチング業務の質を測定する指標（満足度調査等）や地域の課題を踏まえ、特に重点的に推進し成果をあげる必要がある業務としてハローワーク毎に選定する指標（生活保護受給者等の就職件数等）についても、それぞれ目標を設定し、その達成に向けて取り組んでいる。